着用試験レポート

氷のうICINGシリーズ

着用1時間後の温度変化

外気温30℃の環境で掃除を行いながら、氷のうICINGベストと氷のうICINGネッククーラーを1時間着用。サーモグラフィカメラで冷却部位の表面温度を測定しました。

M-9000N 背中中央		M-2000N 首後ろ	
着用前	1時間後	着用前	1時間後
35.3℃	24.3℃	35.4℃	22.2℃
11.0℃低い結果		13.2℃低い結果	

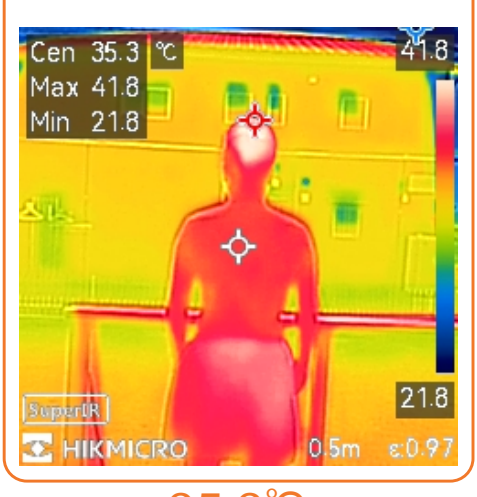
01 着用試験結果

M-9000N

氷のうICINGベスト

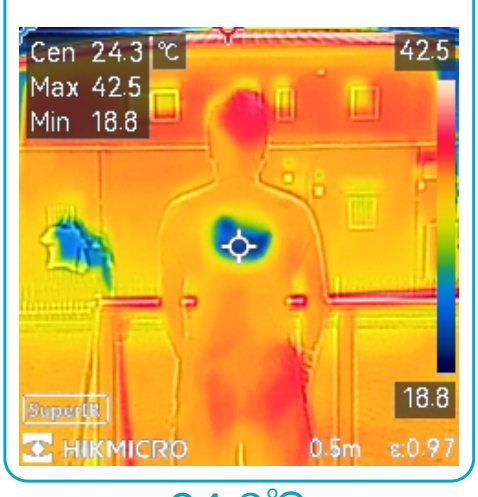
背中中央に取り付けた氷のうが身体を直接冷却。屋外で掃除を行いながら1時間着用しました。

着用前



35.3℃

着用1時間後



24.3℃

背中中央の表面温度を比較 | 11.0℃低下

試験条件

試験日	2026年9月12日
外気温	30℃・晴れ
服装	コンプレッションウェア
動作	屋外で掃除
測定部位	背中中央

測定結果

着用前は35.3℃、着用1時間後は24.3℃でした。着用前と比べて11.0℃低い表面温度が確認され、体感も「非常に涼しい」という結果でした。

02 着用試験結果

M-2000N

氷のうICINGネッククーラー

首後ろを氷のうで集中的に冷却。Tシャツを着用し、掃除を行いながら1時間使用しました。

着用前



35.4℃

着用1時間後



22.2℃

首後ろの表面温度を比較 | 13.2℃低下

試験条件

試験日	2026年9月14日
外気温	30℃・晴れ
服装	Tシャツ
動作	掃除
測定部位	首後ろ

測定結果

着用前は35.4℃、着用1時間後は22.2℃でした。着用前と比べて13.2℃低い表面温度が確認され、体感も「非常に涼しい」という結果でした。

03 試験結果のまとめ

今回の試験で確認できたこと

外気温30℃の環境で1時間着用した結果、ベスト・ネッククーラーともに、冷却部位で着用前より低い表面温度が確認されました。

01

電源不要

氷を利用するため、バッテリーや充電を必要としません。

02

冷やしたい部位を直接冷却

ベストは背中中央、ネッククーラーは首後ろを集中的に冷やします。

03

幅広い使用シーン

屋外作業、工場、倉庫、農作業、スポーツ・レジャーなどで使用できます。

今後も検証を続けます

使用環境や着用時間を変えながら試験を行い、暑熱対策商品の実測データを継続してご紹介します。

※本資料の数値は今回の試験条件における測定結果です。気温・湿度・活動量・服装・氷の量などにより結果は異なります。